

VIII 教育職員免許状の取得方法

教育職員免許状を取得するための単位修得要領は次のとおりである。

なお、これは教育職員免許法、同法施行規則、熊本大学学則及び同理学部規則より抜粋し、説明を加えたものである。

(1) 免許状の種類及び教科

免許教科	免許状の種類
数 学	中学校教諭一種免許状
	高等学校教諭一種免許状
理 科	中学校教諭一種免許状
	高等学校教諭一種免許状

(2) 免許状を取得するための単位修得方法等

基礎資格及び最低修得単位数

免許状の種類	所要資格	大学において修得することを必要とする最低単位数			教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目 注5)
		基礎資格	教科及び 教科の指 導法に関 する科目 注2)	教育の基 礎的理解 に関する 科目等 注3)	
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。 注1)	28	27	4	日本国憲法 2単位 体 育 2単位
高等学校教諭一種免許状		24	23	12	外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作 2単位

注1) 理学部規則第18条に定めるところより卒業と認定された者に与えられる学位。

注2) 「教科及び教科の指導法に関する科目」には必修科目とそれ以外の科目があり、免許状の種類と教科ごとに定められている。理学部では表 (27ページ~29ページ) にしたがって必要な単位を修得すること。

注3) 「教育の基礎的理解に関する科目等」は免許状の種類ごとに定められている。

表 (26ページ) にしたがって必要な単位を修得すること。

注4) 「大学が独自に設定する科目」を本学では特に定めていない。

「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位のうち、最低修得単位数を超えた単位は大学が独自に設定する科目として取り扱う。

注5) 注2) ~注4) の科目の他に、修得を要する科目のこと。全て教養教育で開講される。表 (27ページ) を参照

(3) 「教育実習」及び介護等体験について

教育実習の手続きはすべて掲示で通知するので、掲示に注意すること。

	2年次	3年次	4年次
4月	教職ガイダンス	教育実習申込受付	教育実習事前指導
		介護等体験申込受付	教育実習期間の決定
5月		介護等体験事前指導	～7月：教育実習参加
		～6月：出身校へ内諾申込	
7月		介護等体験参加	事後指導
9月	教職ガイダンス		
10月			教員免許申請手続き
11月			反省討議

教育実習の単位と実習期間

取得希望の免許	本学の授業科目	必要単位数	実習期間
中学校教諭一種免許状のみ又は、 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状	中等教育実習 (2単位)	4単位	4週間
	中等教育実習 (2単位)		
高等学校教諭一種免許状のみ	中等教育実習 (2単位)	2単位	2週間

(4) 介護等の体験

中学校教諭の一種免許状を取得しようとする者には、必要な単位の修得の他、最低7日間の「介護等の体験」が義務づけられている。

本学部の対象者	内 容	実施する場所	体 験 期 間
中学校教諭一種免許状を取得しようとする者	障がい者・高齢者等に対する介護、 介助、これらの者との交流	盲 学 校 聾 学 校 養 護 学 校 社会福祉施設 その他の施設	最低7日間

注) 1. 以下の者は免除される。

1) 介護等に関する専門的知識及び技術を有する者

(例：介護福祉士、看護師等の資格を有する者)

2) 法律で定める「身体上の障がいにより介護等の体験を行うことが困難な者」に該当する者

2. 免許状申請の際、学校・施設が発行する介護等体験の証明書が必要となる。

3. 介護等体験の手続きは次のとおり。

すべて掲示で通知するので、掲示に注意すること。

介護等体験実習申込み 3年次4月初旬

実習先決定 3年次5月～6月頃

実習 3年次8月～12月頃

(5) 「履修カルテ」について

教員免許状取得のための履修をしている者は、履修カルテを作成しなければならない。

履修カルテは、各自の教職課程（教育の基礎的理解に関する科目等）の学修到達度を記録するもので、履修カルテシステムから作成する。

次のスケジュールで自己評価を入力する。

- ・ 3年次4月
- ・ 4年次4月
- ・ 4年次教職実践演習前

なお、具体的な入力期間は、掲示により通知する。

(6) 「教育職員免許状」授与申請

本学から一括して行う教育職員免許状授与申請（申請先：熊本県教育委員会）の手続きは、次のとおり。

具体的な日程は掲示で通知するので、掲示に注意すること。

大学からの教育職員免許状一括申請要項配布・説明会	卒業年度の7月頃
教育職員免許状一括申請受付	10月頃
教育職員免許状授与	3月

本学からの一括申請をしない場合は、個人で都道府県教育委員会へ申請することができる。

なお、教員免許状は10年間の有効期間が付されている。

表 教育職員免許法施行規則に定める「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等	各科目に含めることが必要な事項	本学の授業科目	単位数		開講年次
			中学校	高等学校	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	2	4
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と社会	2	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2	3
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育原理	1	1	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	1	1	3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践 注3)	2	-	4
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導（進路指導及びキャリア教育を含む）	2	2	3
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術	2	2	3
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法	2	2	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	2	4
教育実践に関する科目	教育実習（5単位）注1)	事前・事後指導	1	1	4
		中等教育実習	2	-	4
		中等教育実習	2	2	4
	教職実践演習（2単位）注2)	教職実践演習	2	2	4
合 計			27	23	

注1) 教育実習を履修するためには、3年次終了までに「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位及び「各教科の指導法」(P27～P29表 「教科及び教科の指導法」の単位修得方法を参照)の単位を14単位以上修得し、4年次に進級していなければならない。

2) 教職実践演習は、教育実習を履修する年度以降に履修するものとする。併せて、履修カルテを作成し、自己評価を済ませておかななければならない。

3) 中学校教諭一種免許状を取得しようとする者で、高等学校教諭一種免許状も取得しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数に「道徳教育の理論と実践」を算入することができる。

なお、上表の本学の授業科目及び「各教科の指導法」の授業科目は、卒業要件の単位には算入されない。

表 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の単位修得方法

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する科目	
科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数
日 本 国 憲 法	2	暮らしの中の憲法	2
体 育	2	体育・スポーツ科学	2
外国語コミュニケーション	2	英 語 A - 1 英 語 A - 2	1 } 2 1 }
情報機器の操作	2	情 報 基 礎 A 情 報 基 礎 B	1 } 2 1 }

表 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得方法

数 学

中学校教諭一種（数学）の免許状を取得するには、次の科目から必修科目及び選択必修科目を含めて32単位以上修得すること。

高等学校教諭一種（数学）の免許状を取得するには、次の科目から必修科目及び選択必修科目を含めて36単位以上修得すること。

免許法施行規則に定める科目区分等	対応する授業科目 (* 教養教育科目)	単 位 数	必修 / 選択	
			中学校	高 校
代数学	線形数学	2	必修	必修
	数学演習 D	1	選択	選択
	代数概論 I	3		
	代数概論	3		
	代数学 I	2		
	代数学	2		
幾何学	解析幾何	2	必修	必修
	位相数学	3	選択	選択
	数学演習 A	1		
	幾何概論 I	3		
	幾何概論	3		
	幾何学 I	2		
	幾何学	2		

免許法施行規則に定める科目区分等	対応する授業科目 (* 教養教育科目)	単 位 数	必修 / 選択		
			中学校	高 校	
教科に関する専門的事項	解析学	微分方程式	2	1科目	1科目
		複素関数	2	選択必修	選択必修
		数学演習 B	1	選択	選択
		数学演習 C	1		
		解析概論 I	3		
		解析概論	3		
		解析概論	3		
		複素解析	3		
		解析学 I	2		
		解析学	2		
	応用解析	2			
	「確率論、統計学」	統計学 *	2	必修	必修
		統計学 *	2	選択	選択
確率論 I		2			
確率論	2				
コンピュータ	情報処理概論 *	1	必修	必修	
	計算機科学	1	選択	選択	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	数学科教育	2	必修	必修	
	数学科教育	2		-	
	数学科教育	2		-	
	数学科教育	2		-	

理 科

中学校教諭一種（理科）の免許状を取得するには、次の科目から必修科目及び選択必修科目を含めて32単位以上修得すること。

高等学校教諭一種（理科）の免許状を取得するには、次の科目から必修科目及び選択必修科目を含めて36単位以上修得すること。

（注）物理学基盤実験、化学基盤実験、地学基盤実験及び生物学基盤実験は、中学校教諭一種（理科）においてはすべて必修であるが、高等学校教諭一種（理科）においてはいずれか1科目選択必修である。

免許法施行規則に定める科目区分等	対応する授業科目 （*教養教育科目）	単 位 数	必修 / 選択	
			中学校	高 校
教科に関する専門的事項	基礎力学	2	1科目 選択必修	1科目 選択必修
	基礎量子力学	2		
	基礎電磁気学	2	選択	選択
	基礎物理数学	2		
	力学	2		
	力学演習	2		
	電磁気学	2		
	電磁気学演習	2		
	量子力学Ⅰ	2		
	量子力学Ⅰ演習	2		
	量子力学	2		
	量子力学 演習	2		
	量子力学	2		
	解析力学	2		
	熱力学	2		
	統計力学Ⅰ	2		
	熱統計力学演習	2		
	統計力学	2		
	物理数学	2		
	基礎数理物理学	2		
	光学	2		
	特殊相対論	2		
	物性物理学Ⅰ	2		
物性物理学	2			
コンピュータ物理学	2			
物理実験学	2			
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	物理学基盤実験*	1	必修	(注)選択必修
	物理学共通実験	1	選択	選択
	物理実験A	2		
	物理実験B	2		

免許法施行規則に定める科目区分等	対応する授業科目 （*教養教育科目）	単 位 数	必修 / 選択		
			中学校	高 校	
教科に関する専門的事項	基礎物理化学	2	1科目 選択必修	1科目 選択必修	
	基礎無機化学	2			
	基礎分析化学	2			
	基礎有機化学	2	選択	選択	
	物理化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅰ	2			
	物理化学	2			
	物理化学	2			
	無機化学	2			
	無機化学	2			
	分析化学	2			
	分析化学	2			
	有機化学Ⅰ	2			
	有機化学	2			
	有機化学	2			
	有機反応化学	2			
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	化学基盤実験*	1	必修	(注)選択必修
		化学共通実験	1	選択	選択
		化学実験A	3		
化学実験B		3			
化学実験C		3			
化学実験D	3				

免許法施行規則に定める科目区分等	対応する授業科目 (* 教養教育科目)	単位数	必修 / 選択		
			中学校	高校	
教科に関する専門的事項	地学	地球環境システム学	2	1科目 選択必修	1科目 選択必修
		地球史	2		
		基礎地質学	2		
		基礎地球物質科学	2		
		基礎地球惑星科学	2		
		基礎水文学	1	選択	選択
		基礎水圏科学	1		
		岩石学	2		
		地球惑星物質学	2		
		火山学	2		
		海洋の科学	2		
		層位学	2		
		堆積学	2		
		地史・古生物学	2		
	構造地質学	2			
	水文学	1			
	気象学	2			
	水圏環境科学	1			
	固体地球物理学A	2			
	地球化学	2			
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	地学基盤実験*	1	必修	(注)選択必修
		地学共通実験	1	選択	選択
		地質調査法I	2		
		地質調査法	2		
		地球物質科学実験A	1		
		地球物質科学実験B	1		
地球物質科学実験C		1			
地球物質科学実験D		1			
地球変遷学実験A		1			
地球変遷学実験B		1			
地球惑星科学実験A		1			
地球惑星科学実験B		1			
地球惑星科学実験C	1				
地球惑星科学実験D	1				
野外巡検	1				
野外巡検	1				

免許法施行規則に定める科目区分等	対応する授業科目 (* 教養教育科目)	単位数	必修 / 選択		
			中学校	高校	
教科に関する専門的事項	生物	生物多様性学	2	1科目 選択必修	1科目 選択必修
		分子生物学	2		
		細胞生物学	2		
		細胞生理学	2		
		環境適応学	2		
		発生工学	1	選択	選択
		進化生態学	1		
		細胞遺伝学	2		
		生化学	2		
		植物生理学	2		
		動物生理学	2		
		内分泌学	2		
		系統分類学	2		
		発生生物学	2		
		植物分子生物学	2		
		植物細胞学	2		
		分子細胞生物学	2		
		分子遺伝学	2		
		免疫学	2		
	自然誌科学	2			
	保全生物学	2			
	海洋生態多様性学	2			
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	生物学基盤実験*	1	必修	(注)選択必修
		生物学共通実験	1	選択	選択
		生物学実験A	3		
		生物学実験B	3		
	生物学実験C	3			
		生物学実験D	3		
		臨海実習I	2		
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	中等理科教育法	2	必修	必修
		中等理科教育法	2		
		中等理科教育法	2		
		中等理科教育法	2		-